

# 宮古地域 農林水産業の重点施策

令和6年9月

沿岸広域振興局農林部 宮古農林振興センター  
宮古農林振興センター林務室  
沿岸広域振興局水産部 宮古水産振興センター  
宮古農業改良普及センター

| 分野         | 内 容                                       | 市町村              | 重点項目             |
|------------|---|------------------|------------------|
| 農 業        | 宮古地域で農業ライフをはじめよう                          | 全 域              | 自然減・社会減          |
| 農 業        | 海岸環境整備事業 浦の浜地区<br>～ 東日本大震災津波からの多様な復旧・復興 ～ | 山 田 町            | 自然減・社会減<br>安全・安心 |
| 農 業        | ブロッコリー産地の確立                               | 全 域              | 収益向上             |
| 農 業<br>林 業 | 畑わさびの生産                                   | 岩 泉 町            | 収益向上             |
| 林 業        | いわて環境の森整備事業<br>～ 混交林誘導伐で森林の公益的機能の発揮 ～     | 宮 古 市<br>山 田 町   | 自然減・社会減<br>安全・安心 |
| 林 業        | 適正な県有林の経営管理の推進<br>～ 計画的な間伐の実施と林産物の売払い ～   | 岩 泉 町<br>田 野 畑 村 | 安全・安心<br>収益向上    |
| 林 業        | 龍泉洞地区予防治山工事<br>～ 平成28年台風10号災害からの復旧 ～      | 岩 泉 町            | 安全・安心            |
| 水 産 業      | 県産ホタテガイ天然採苗の取組                            | 田 野 畑 村          | 収益向上             |
| 水 産 業      | 水産環境整備事業<br>～ハード・ソフト対策の連携による藻場再生の取組～      | 全 域              | GX<br>収益向上       |

# 【農業】宮古地域で農業ライフをはじめよう（宮古地域全域）

自然減  
社会減

GX

DX

安全  
安心

震災  
伝承

収益  
向上

## 【取組のポイント】

- 農業者が減少しているため、新たな農業者に宮古地域へ定着してもらうことが必要
- 関係機関・団体と連携して、相談窓口の設置や経営管理・栽培技術のアドバイス、経営資金の支援など各種支援を実施
- 積極的に地域外へ就農者の生の声を発信

## 【取組の効果】

- 宮古地域では、ここ5年間で95人が新たに就農

<新規就農者数の推移>

| 区分    | R元  | R2  | R3 | R4  | R5  | 計   |
|-------|-----|-----|----|-----|-----|-----|
| 自営・親元 | 6人  | 5人  | 4人 | 5人  | 10人 | 30人 |
| 雇用    | 20人 | 26人 | 4人 | 6人  | 9人  | 65人 |
| 計     | 26人 | 31人 | 8人 | 11人 | 19人 | 95人 |

※自営就農：自らが経営主、親元就農：親が経営主で就農、雇用就農：農業経営体に就農

### <相談窓口の設置>

市町村農政担当部署や農協、宮古農業改良普及センターの事務所で就農志向者の相談に対応しています。

また、県内外の就農イベントにも相談コーナーを設置しています。



### <地域外への魅力発信>

宮古地域の就農者の声をYouTubeやHPで発信しています。

また、実際の農業の現場を知ってもらうために体験できる機会を設けているほか、県内外の就農イベントで宮古地域への就農をPRしています。



圃場見学会（令和6年度）



酪農をモウッと知ろうツアー（令和6年度）



IWATE / Be a Farmer～岩手宮古地方で野菜農家になる～



岩手 宮古地方で畜産農家になる

### <経営・栽培指導>

県や市町村、農協等が新規就農者を定期的に訪問し、経営管理技術や栽培技術のアドバイスを行っています。



### <各種支援>

県や市町村では、就農直後の経営確立を支援する資金の交付や機械・施設の整備の補助を実施しています。市町村によっては、住居取得や家賃を補助しています。



【担当：宮古農林振興センター（農政推進課）・宮古農業改良普及センター（地域指導課）】

# 【農業】海岸環境整備事業 浦の浜地区 (山田町)

～ 東日本大震災津波からの多様な復旧・復興 ～

自然減  
社会減

GX

DX

安全  
安心

震災  
伝承

収益  
向上

## 【取組のポイント】

- 東日本大震災津波により、約270mに渡って砂浜が流出
- 管理棟も全壊、約60センチの地盤沈下
- 約7,800m<sup>3</sup>（宮古港フェリーターミナルビル1階天井まで分）の砂を運び込み砂浜を復旧

## 【取組の効果】

- 砂浜の有する消波機能により波浪を弱める効果を期待
- 各種イベントの開催、「海と鯨の科学館」等近隣施設との相乗効果で地域のにぎわいを創出

## 【被災後】



砂浜、スロープ等が流出



## 【復旧後】



砂浜、スロープ等の復旧



## 【復興へ】



Hondaビーチクリーン活動



海の運動会



やまだパドルフェス



海水浴客でにぎわう

浦の浜海水浴場来訪者数（人）



【担当：宮古農林振興センター（農政推進課）】

# 【農業】ブロッコリー産地の確立（宮古地域全域）

自然減社会減 GX DX 安全安心 震災伝承 収益向上

## 【取組のポイント】

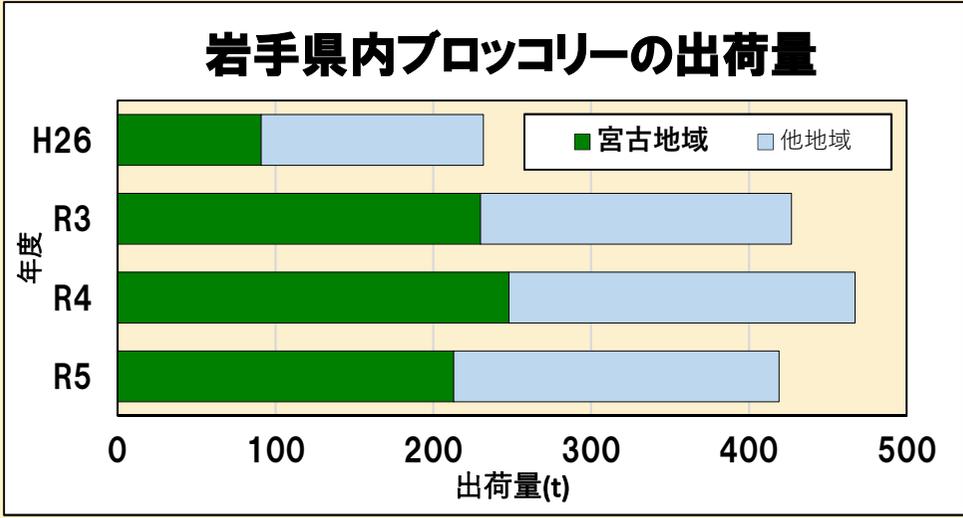
- 中核経営体の育成に向けた対象経営体への栽培・経営指導および労働力確保対策
- ブロッコリーの安定生産技術確立
- 地域のブロッコリー産地としての認知度向上

## 【取組の効果】

- 県内の主要な**ブロッコリー産地に！**  
（**全県の出荷量の5割強が宮古地域**）

### <宮古地域の特徴>

- ◆ 内陸とくらべて春早くから温暖で、夏季冷涼な**気象条件がブロッコリー栽培に適する**
- ◆ 他産地が出荷できない**6月頃の出荷がメイン**
- ◆ 漁港が近く、**氷を容易に入手できる**ため、新鮮な状態での流通が可能



- 労働力確保のための**圃場見学会**  
・**農作業体験会**を開催



- 安定生産のための**品種比較**  
や**防除技術**を実証



- 小学生を対象とした**ブロッコリー学習会**を開催



【担当：宮古農業改良普及センター（産地育成課・岩泉普及サブセンター）  
・宮古農林振興センター（農業振興課）】

# 【農業・林業】畑わさびの生産（岩泉町）

自然減  
社会減

GX

DX

安全  
安心

震災  
伝承

収益  
向上

## 【取組のポイント】

- 新規生産者の確保・育成
- 栽培技術の検討（種子確保、害虫防除方法の確立）
- 個別巡回や目揃い会での生産指導

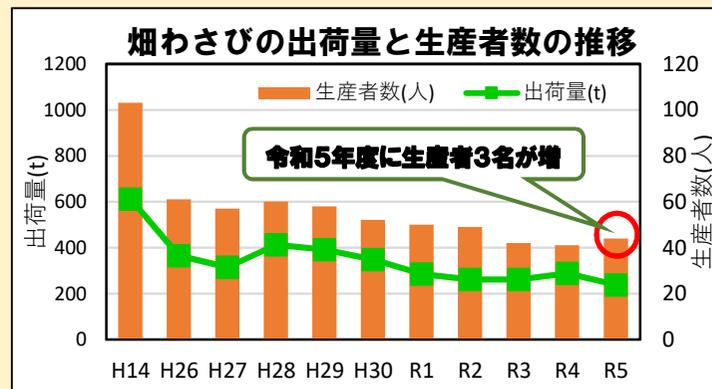
## <岩泉町の取組>

◆ 昭和59年頃から山間地の林地内での畑わさびの植栽が行われ、加工原料としての栽培が始まる

◆ 収穫後の洗浄・調整等の作業体制が整っている

## 【取組の効果】

- 国内一の畑わさび産地の維持
- 新規栽培者の確保



練わさび等の原料として出荷

## ○ 新規生産者の確保・育成

地域おこし協力隊員向け研修会



圃場見学会



## ○ 畑わさびの種子確保の取組

採取したわさびの鞘（中に種子）  
発芽率に課題あり→対策手法の確立



【担当：宮古農業改良普及センター（岩泉普及サブセンター）

・宮古農林振興センター林務室（岩泉林務出張所）】

# 【林業】いわて環境の森整備事業（宮古市・山田町）

～ 混交林誘導伐で森林の公益的機能の発揮 ～

自然減  
社会減

GX

DX

安全  
安心

震災  
伝承

収益  
向上

## 【取組のポイント】

- 宮古管内では、手入れが行き届かなくなった人工林を強度に間伐することで、公益的機能の高い森林へ誘導する「いわて環境の森整備事業」を積極的に推進

## 【取組の効果】

- 本事業は、宮古市の重茂地区や山田町の船越地区において、多くの実績
- 豊かな森づくりが豊かな海づくりにつながるという好循環の実現に寄与

手入れが不足している人工林において、本数率で概ね 50%の強度間伐を実施することで、明るい森林へと林内環境を改善し、広葉樹等の侵入・生育を促しながら、公益的機能の高い森林に誘導しています。

### 施工面積

| 年度      | 面積    |
|---------|-------|
| R1      | 70ha  |
| R2      | 73ha  |
| R3      | 83ha  |
| R4      | 97ha  |
| R5      | 104ha |
| R6 (計画) | 100ha |



間伐前



間伐後

【担当：宮古農林振興センター林務室（林業振興課）】

# 【林業】適正な県有林の経営管理の推進（岩泉町・田野畑村）

～ 計画的な間伐の実施と林産物の売払い ～

自然減 社会減 GX DX 安全安心 震災伝承 収益向上

## 【取組のポイント】

- 岩泉管内の県有林は、301事業区、約9千haと広大
- 適正な保育管理や、公売等を実施しながら計画的に林産物を売払い

## 【取組の効果】

- 計画的な保育を実施することで、森林の公益的機能が発揮されるとともに、森林資源の維持と良質な木材生産に寄与

林齢の若い事業区では、計画的な保育管理を行っており、毎年100ha前後の間伐を実施しています。

また、公売による林産物の売払いは、5月から11月まで毎月実施しています。

【県有林の事業区、面積（令和3年3月末現在）】（単位：事業区、ha）

| 区分  |       | 事業区数   | 面積    |
|-----|-------|--------|-------|
| 直営林 | 県有模範林 | 1      | 891   |
| 分収林 | 県行造林  | 旧県行造林  | -     |
|     |       | 水源林    | 1     |
|     |       | 特殊材備蓄林 | 7     |
|     |       | 新県行造林  | 112   |
| 公営林 | 180   | 5,501  |       |
| 合計  |       | 301    | 8,967 |

【県有林事業間伐実績・計画面積】（単位：ha）

| 年度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30※ | R1  | R2  | R3  | R4  | R5※ | R6予定 |
|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 面積 | 267 | 162 | 84  | 103 | 130  | 129 | 108 | 125 | 167 | 132 | 90   |

※繰越含む

【公売による県有林産物売払（立木処分）落札実績、予定】（単位：件、ha）

|    | H30 | R元    | R2    | R3    | R4    | R5    | R6予定   |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 件数 | 0   | 2     | 2     | 5     | 6     | 2     | 21     |
| 面積 | 0   | 28.75 | 27.80 | 48.24 | 73.16 | 22.73 | 441.12 |

【間伐施工前】



【間伐施工後】



【公売売払地】



【伐採作業状況】



【伐採跡地】



※再造林の働きかけ

【担当：宮古農林振興センター林務室（岩泉林務出張所）】

# 【林業】龍泉洞地区予防治山工事（岩泉町）

～ 平成28年台風10号災害からの復旧 ～

自然減  
社会減

GX

DX

安全  
安心

震災  
伝承

収益  
向上

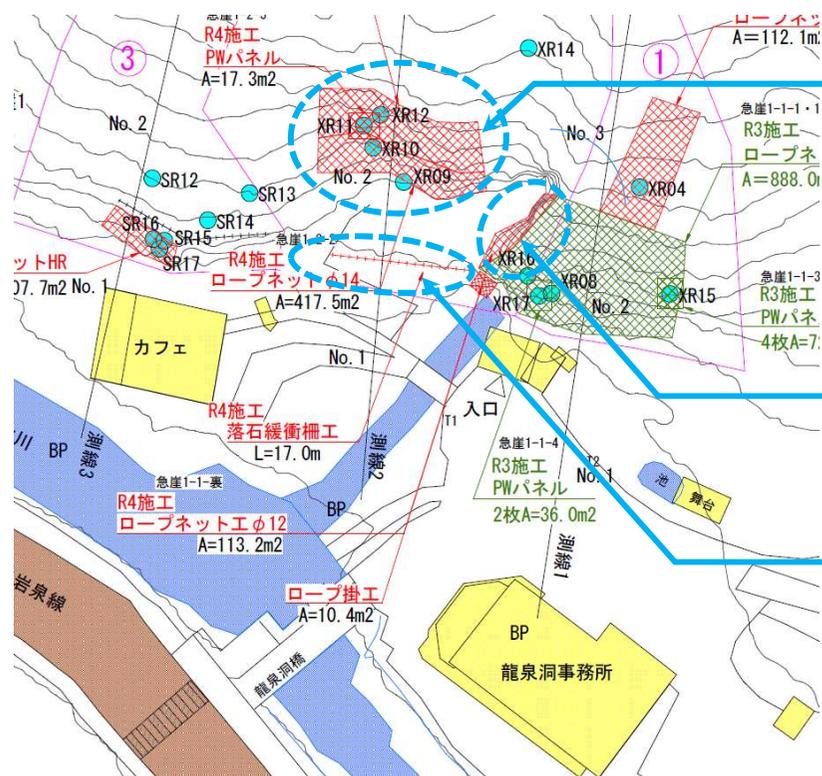
## 【取組のポイント】

- 平成28年8月に発生した台風第10号により、山腹斜面から龍泉洞の坑道入口付近に落石が発生
- 再度の落石を防止するための工事を実施

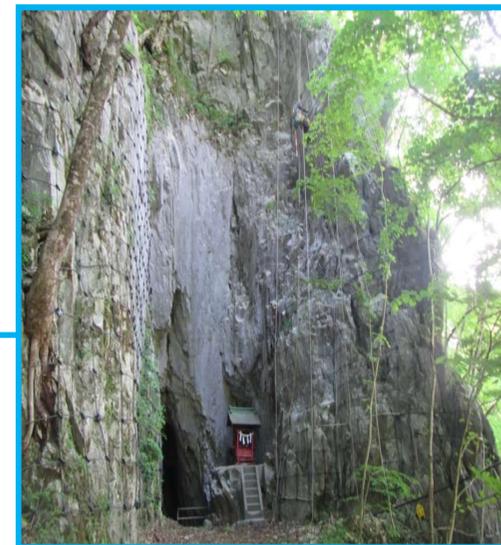
## 【取組の効果】

- 龍泉洞の来客者数は、コロナ禍では年間8万人まで減少したが、令和4年度以降は年間15万人ペースで推移
- こうした安全確保対策は、観光客の順調な回復にも寄与

工事は、龍泉洞の坑道入口の上部約100mの地点で勾配約80度の斜面上であったため、作業員や観光客の安全確保をしながらの難工事となりました。



固定工（ロープネット工）完成状況



固定工（ロープ掛工）完成状況



落石緩衝柵工完成状況

【担当：宮古農林振興センター林務室（森林保全課）】

# 【水産業】県産ホタテガイ天然採苗の取組（田野畑村）

自然減  
社会減

GX

DX

安全  
安心

震災  
伝承

収益  
向上

## 【取組のポイント】

- ホタテ養殖は、海中を漂っているホタテの幼生を十分な採苗器に付着させ、採取することが重要
- ホタテ種苗の供給量は不安定であり、種苗の安定供給体制の構築が必要（表1）
- これまでホタテ養殖を行っていない海域で新たにホタテの採苗を試み、種苗の安定供給と種苗の販売による漁業者の収入向上を目的

## 【取組の効果】

- 田野畑村、田老町、小本浜地先で採苗試験を実施
- 田野畑村の採苗数が多く、採苗数も安定（表2）
- 種苗の成長・生残、出荷の歩留まりが良好（図1）
- R5年度からは事業規模の採苗試験を実施（図2、3）
- 令和6年度から漁業者5名が事業化し、1人当たり7万円の収入増

## R3～R4年度 採苗試験・養殖試験

| 年度  | 希望数量<br>(千枚、A) | 供給数量<br>(千枚、B) | 割合<br>(%、B/A) |
|-----|----------------|----------------|---------------|
| H29 | 2,065          | 1,800          | 87            |
| H30 | 2,354          | 1,800          | 77            |
| R1  | 3,346          | 1,700          | 51            |
| R2  | 3,120          | 943            | 30            |
| R3  | 2,985          | 1,648          | 55            |

表1. 県産種苗の需給状況

| 年度 | 採苗器投入時期 | 田野畑村 | 小本浜 | 田老  |
|----|---------|------|-----|-----|
| R3 | 5月中旬    | 452  | 360 | 195 |
|    | 5月下旬    | 156  | 32  | 57  |
|    | 6月上旬    | 26   | 9   | 22  |
| R4 | 5月上旬    | 783  | 586 | 641 |
|    | 5月中・下旬  | 342  | 229 | 117 |
|    | 6月上旬    | 226  | 399 | 158 |

表2. 各地区における時期別採苗数

## R5～R6年度事業規模の採苗

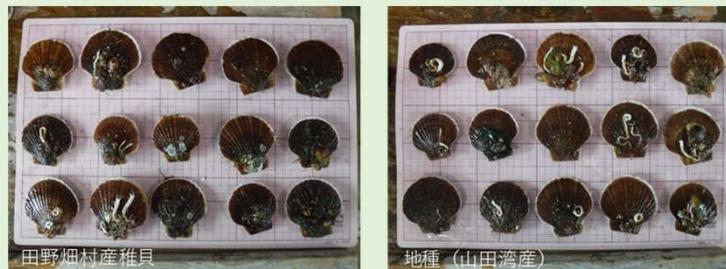


図2. 採苗器700個



採苗器の投入  
田老町漁協（榎内漁場）

採苗数の確認



|          | 平均殻長 (mm) | 平均重量 (g/枚) |
|----------|-----------|------------|
| 田野畑村産稚貝  | 68.3～77.2 | 30.5～40.7  |
| 地種（山田湾産） | 75.9      | 39.9       |

図1. 養殖試験による成長調査結果



採苗器の回収

稚貝を選別して養殖漁場へ



図3. 田野畑村で採苗したホタテ

【担当：宮古水産振興センター（水産振興課）】

# 【水産業】水産環境整備事業 (宮古地域全域)

も ば  
～ハード・ソフト対策の連携による藻場再生の取組～

自然減社会減 | GX | DX | 安全安心 | 震災伝承 | 収益向上

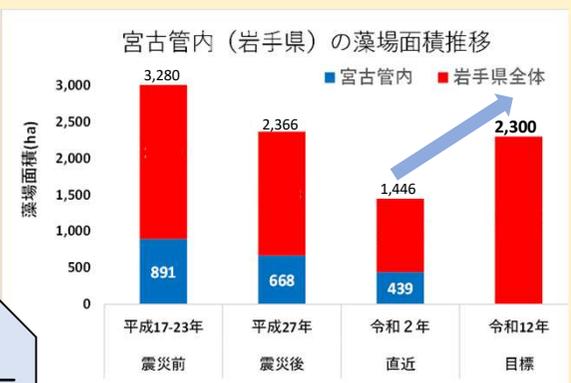
## 【取組のポイント】

- 沿岸域の藻場が衰退し漁獲量が減少
- 漁獲量を回復するため藻場の再生



## 【取組の目標】

- 令和12年度までに約2,300haまで藻場を回復



### ★藻場の役割★

- 魚介類の餌場、隠れ場、産卵や幼稚子の生育の場
- 二酸化炭素を吸収・固定し、地球温暖化防止に向けた脱炭素社会の形成に寄与

## 【整備前】

衰退前の藻場



### ○藻場の衰退要因

ウニによる食害



## 【整備状況 (宮古市田老)】

### ○ブロック設置及び設置直後の状況



### ○海藻繁茂状況 (ブロック設置から約6か月)



## 【整備後のその先】

ハード・ソフト連携による取組イメージ



冬季の海水温上昇に伴い、ウニが活発に活動しているため、海藻の芽が食べられないよう、ウニ除去を実施

- ブロックの設置によるハード対策とウニ除去等のソフト対策を行うことにより、藻場の拡大が期待されます。
- 将来的には、コンブ等の藻場の再生により、アワビ等の漁獲量が増加し、所得の向上が期待されます。

【担当：宮古水産振興センター (漁港漁村課)】